



法人運営

武蔵野市との桜堤ケアハウス用地の賃貸借契約更新

令和6年10月1日から令和36年9月30日まで30年間の契約更新

信陽舎の所有地の一部を高齢者福祉施設（桜堤ケアハウス）用地として武蔵野市に賃貸する契約は、平成6年（1994年）10月1日付で締結（契約期間30年）されたが、令和6年9月30日をもって契約期間満了となるため、武蔵野市の健康福祉部高齢者支援課と契約更新の話し合いを進めた結果、令和6年5月2日付で武蔵野市の小美濃安弘市長名により以下の内容の「宅地継続使用願」を正式に受領した。

宅地継続使用願

平成6年10月1日付において土地賃貸借契約を締結いたしました武蔵野市桜堤1丁目1630番1（宅地）は、令和6年9月30日で期間満了となりますので、引き続き使用いたしたく申請いたします。

なお、契約後は契約条項を遵守いたします。

記

- | | |
|--------|--|
| 1 使用場所 | 武蔵野市桜堤1丁目1630番1の内 |
| 2 使用目的 | 軽費老人ホーム、在宅介護・地域包括支援センター、放課後等デイサービス |
| 3 面積 | 1020.04平方メートル |
| 4 使用期間 | 令和6年10月1日から令和36年9月30日まで |
| 5 使用料 | 令和7年4月1日から起算し、3年毎に土地価格等の変動を考慮して甲乙協議のうえ決定する |

正式な土地賃貸借契約は、7月末に双方の決裁が整いそれぞれの代表者が契約書に記名押印し、令和6年10月1日付にて締結する運びとなった。

少子高齢化が進む社会 学生と高齢者のコミュニティ

少子高齢化や多様性が急速に進むこれからの社会においては、高齢者と若者、弱者と健常者など多様な共生・共助が重要課題となってきます。学生同士の交流だけでなく高齢者や弱者とも交流・共生できる信陽舎（春秋館）は、これからの社会を先取りしたモデルケースとも言える。今回の契約更新により寮生たちには、高齢者との交流という貴重な体験の場が向こう30年は保証されることになり、これからの社会を背負っていく彼らにとっては得難い財産となるでしょう。学生と高齢者が同じ屋根の下で生活する信陽舎が人格形成のための無二の道場として発展していくことを願ってやまない。

令和5年度事業報告・決算の内部監査実施

令和6年5月18日（土）午後2時10分～3時30分 於：信陽舎2階食堂

後田健太郎監事、松澤直紀監事、深澤克巳副理事長、福與卓臣理事長の役員4名が参加して、令和5年度事業執行並びに決算内容につき内部監査を実施した。事業内容については、監事が各理事会に出席するとともに運営報告を日々メール等により確認していて問題はない。経理・財務については、税理士の榊原先生より送って頂いた総勘定元帳、補助帳、金銭出納帳、領収書等エビデンス帳、理事2名が持参した銀行預金通帳、並びに決算計算書類を基に精査するとともに質疑応答した結果、問題はないことを確認できたので、監事2名は「監査報告書」に署名捺印したうえで理事長に提出した。

監査終了後、長谷川寮母さんがバーベキューを準備して頂いたので、寮生を交えて午後4時から2階テラスにてお好み焼きバーベキューをご馳走になった。一年の締め括りの監査が無事終わり肩の荷が下りたようなホッとした気分若い寮生たちと一緒に飲むビールの味はまた格別であった。（福與記）



中信支部再立ち上げ会合

2024年(令和6年)5月11日(土)午前11時～午後1時30分 於：割烹「仙岳 松本店」

舎友会中信支部は、会長の中山卓さん（103）がご逝去（令和4年6月20日）されて以降、会長職が空席のままであるとともに、来年（2025年）の第9回総会・懇親会が中信地区での開催ということで、中信支部の役員刷新と総会開催に向けた準備を進めていくための会合を開いた。

出席者は、現支部幹事長の竹村治恭さん（140）、現事務局長の深澤勝吉さん（135）、岡谷在住の杉本研一さん（254）、松本在住の塚田泰史さん（625）、東京から参加の福與卓臣（117）の5名であった。

会合の結果、支部の新役員案として以下の方々を候補者として決定し、今年秋に支部の再発足を開催して正式決定することになった。

《新役員候補》 【会 長】 竹村治恭（140） 【副 会 長】 深澤勝吉（135） 【顧 問】 小池 章（76）
【幹 事 長】 中村與志人（191） 【副幹事長】 塩澤 明（138）、田村裕昭（264）
【事務局長】 杉本研一（254） 【副事務局長】 岩原 伸（290）、高野雅彦（302）
【幹 事】 藤森 修（396）、赤羽浩行（400）、水野善文（414）、古畑大輔（458）、高野凌輔（583）、両角
旺大（610）、塚田泰史（625）、中村 翼（647）、櫻井陽向（652）

第9回総会・懇親会に向けた準備については以下の通りに進めていくことになった。

- 開催日時は、2025年（令和7年）9月6日（土）正午～15時30分とする。
- 開催場所は、交通の便を考慮し松本駅に近いホテルで、参加者50名前後で年内に仮予約。
- 予算は、過去の例（飯田開催、長野開催）を参考にするとともに物価高を考慮して参加費は一人9,000円を目安にして決定する。
- 準備スケジュールは以下の通りとする。
 - 2024年（令和6年）10月～11月 支部再出発会合開催。新役員の承認と2025年新年会の日程決定
 - 2025年（令和7年）2月 支部新年会兼第9回総会・懇親会の準備会合開催。
総会の詳細及び実行委員決定
 - 2025年（令和7年）8月30日（土）最終打合せ会合（開催会場下見と最終詳細決定）。



杉本研一・竹村治恭・福與・深澤勝吉・塚田泰史

✉

舎友便り

✉

（舎友番号、入寮年） 第8回総会開催案内返信ハガキ通信欄より

- 高柳 俊男（S2、特別会員）： 総会の日の前後は、学生研修で伊那谷に行っている関係で参加できず残念です。寮の（定員の）4割近くが空室と知って驚いています。何とかできれば……。
- 榊原 雅直（S3、特別会員）： 総会のご案内を有難うございました。出席させていただきます。当日皆様にお会いできるのを楽しみにしております。
- 後藤 寿明（4、1956年）： （ご長男の万寿夫様より）お世話になっております。現在、寿明は介護施設に入所しております。今後郵便物の送付は長男の万寿夫（横浜市）宛に送るように変更をお願いいたします。
- 平澤 正通（11、1956年）： 毎週土曜日にハーモニカのサークル活動をしています。都合が付けば舎友会に出席したいと思っておりますが、イベントの予定が未定のため欠席させていただきます。ご盛会をお祈りします。
- 宮川 章義（14、1956年）： 第8回総会に出席致します。信陽舎の経営にご尽力頂き心より感謝御礼申し上げます。信陽舎に足を運ぶ機会がなく淋しい思いをしています。
- 椎名 洽一（34、1959年）： 体調を崩しておりまして、会合の出席等はひかえております。ご盛会をお祈りしております。
- 古島 史雄（47、1959年）： 平均年齢を1年程超えたつもりが、気づけば既に2年も超えていた。平均年齢が半年ほど短くなったのだ。卒寿を迎えられるのは2人に1人、この先何が起こっても不思議はない。今まではコロナ回避が関心事だったが、ここへ来て带状疱疹だ、大腸ポリープだと忙しかった。带状疱疹は外見が治っても感覚過敏と麻痺が併存する後遺症が続いているし、ポリープ切除は事前準備もさることながら、事後のケアも面倒だ。あと数日は我慢である。
- 安藤 光弘（52、1960年）： 舎友皆様のご健康と益々のご活躍を願っております。
- 関島 昌信（64、1960年）： 先日はお手紙を有難うございました。林会長様によりしくお伝えください。総会に出席できなく申し訳ありません。
- 浜 国昭（65、1960年）： いつものご配慮に感謝です。総会は欠席いたします。付き合いが悪くてすみません。ご参会の皆様方のご健勝とご多幸を願っております。信陽舎の更なるご発展をお祈りしております。
- 嶋岡 洋平（78、1960年）： 年齢相応の病で病院のお世話になることが多くなりました。
- 神波 潔（85、1961年）： 昨年の長野大会には各地から舎友を迎えて盛大裡に終えることができ有難うございました。今後の舎友会の発展をご祈念いたします。
- 坂 好章（99、1962年）： 持病（腰痛）により欠席させていただきます。総会・懇親会の盛り上がりを祈念いたします。

(舎友番号、入寮年)

第8回総会開催案内返信ハガキ通信欄より

- 中田 茂 (102、1962年) : 総会当日、身内の法事の為、残念ながら欠席させていただきます。盛会を祈念いたします。
- 上松三治彦 (108、1963年) : 昨年の秋の終わりに引っ越ししたりして経済的に非常に苦しいのですが、新宿なら違ってでも行けると思出席の決心を致しました。80歳で色々の事から身を引いております。ご盛会を祈っております。
- 池神 利勝 (109、1963年) : 貴殿始め理事各位のご苦勞に頭が下がります。諸課題があるなか何の手伝いも出来ず申し訳ありません。舎友会の盛況と寮の維持発展をお祈りいたします。
- 小平 国俊 (113、1963年) : 昨年は長野市での総会に出席させていただき楽しい時を過ごしました。主催者の皆様有難うございました。県内で総会が開かれる時は是非とも出席させていただきます。
- 竹村 治恭 (140、1965年) : 来年の第9回の総会は松本にて開催が予定されております。是非とも皆様のご協力を宜しくお願いいたします。
- 原 鍊造 (144、1965年) : 会報14号を有難うございました。いつも隅々まで楽しく読ませてもらっています。こちらは都会に比べれば涼しいとは言うものの、もう扇風機を用意する頃となりました。今年の夏も酷暑が予報されています。どうぞご自愛ください。
- 伊原江太郎 (147、1966年) : 信陽舎の運営面において力添えできることなく申し訳なく思うところです。近年の少子化による学生数の減少は不可避であり、寮の長期的視点の見直しも必要と思います。あくまでも学生寮運営のためには、現在の公益財団法人の形態が適切なのか否か? 規制が数多くあり、将来の姿を考える時法人形態のあり方をもっと運営し易い形態のものに変更することも一案かと考えています。皆様と意見を交換できれば幸いです。
- 岡田 善勝 (148、1966年) : 3男坊のお寺化野念仏寺に家内と行く予定がありますので(総会)は欠席します。皆様によろしくお伝え下さい。
- 尾畑 明 (150、1966年) : リニア開通も34年以降となり、乗車して総会に出席できるかどうか(?)です。皆様の近況報告を見るたびに当時のことが想いされます。
- 葛岡 龍夫 (151、1966年) : 妻の具合が悪く総会には参加できません。皆様のご活躍をお祈りいたします。
- 仲田 哲夫 (155、1966年) : 総会は欠席させていただきますが、盛大な総会となりますよう祈念いたします。皆さんに宜しくお伝えください。
- 松山 順治 (158、1966年) : いつもお世話になり有難うございます。総会が盛会でありますようお祈りいたします。
- 金田 憲治 (164、1967年) : 村長職を引退表明しましたが、意に添わず出馬することになり、7月2日、無投票で三期目を担うことになりました。
- 櫻井 康夫 (166、1967年) : 皆様お元気のことと存じます。私は小説家を目指し、7月に出版を予定しています。題名は『ローラン・ギャロスの侍』(大垣書店、1,800円)です。書店にお申し込み下さい。(本会報 4頁に紹介記事掲載)
- 遠山 正信 (181、1968年) : 最近は運動を兼ねた家庭菜園に力を入れております。総会は欠席致しますがご盛会をお祈りします。
- 林 高明 (182、1968年) : 試行錯誤の野菜作りに挑戦中です。雑草の勢いには敵いません。残りの人生を思うにつけ、信陽舎での貴重な体験が尊く、感謝の気持ちで一杯になります。
- 小坂 恒夫 (187、1969年) : 総会は欠席致します。ご盛会を!
- 中村 克己 (190、1969年) : 総会と次回の検査入院予定の次期が重なりますので残念ながら欠席いたします。なお、8月31日の舎友会役員会も欠席とさせていただきますので宜しくお願いいたします。
- 前澤 孝一 (193、1969年) : ご案内をいただき有難うございます。残念ですが、家庭の事情により欠席致します。ご盛会をお祈り申し上げます。
- 森山 幹夫 (196、1969年) : 第7回舎友会総会の会報を楽しく見させていただきました。また皆様にお会いできることを楽しみにしております。
- 今村 行人 (200、1970年) : 総会は欠席致しますが、ご盛会をお祈りします。
- 岩原 晃 (214、1971年) : ニュースを見ると、国内外の周辺事情が気がかりですが、「大切な信州」、「大切な日本」、「大切な地球」、「大切な宇宙」、「大切な信陽舎」を未来にしっかり届けられるよう、心に強く願いながら日々の仕事を展開して参りたいと思うばかりです。
- 中村 泰昭 (234、1972年) : 総会は都合がつかせませんでしたので、残念ながら欠席させていただきます。
- 杉本 研一 (254、1974年) : 総会は欠席させていただきます。中信支部立ち上げについては、引き続きご指導ください。
- 田村 裕昭 (264、1976年) : 第8回総会・懇親会は欠席致します。松本で開催の折は参加させていただきます。
- 山口 益弘 (270、1976年) : 会報14号、楽しく拝読いたしました。
- 青柳 淳英 (280、1978年) : 総会の9月7日(土)ですが、すでに出張が入っておりますので残念ながら欠席致します。
- 福澤 淳一 (282、1978年) : 土、日、祝日は、地域ボランティア活動(サッカー部コーチ)の為、残念ですが総会は欠席致します。
- 岩原 伸 (290、1980年) : 再任用2年目となりましたが、仕事はほとんど変わらず、いかに教育費が値切られているかを感じます。小さくても未来を語りしたいと思います。ご盛会を心よりお祈りいたします。
- 高野 雅彦 (302、1981年) : 本年も地区副区長の務めと公園の草刈り作業が総会開催日と重なってしまい欠席とさせていただきます。ご盛会と皆様のご多幸をお祈り申し上げます。
- 仁科 圭右 (306、1982年) : 理事長はじめ理事会役員の皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。
- 木下 剛 (360、1990年) : いつもありがとうございます。今回の会報14号にあった他県の県人寮での女性の受入れの流れは良いことと思いました。信濃寮はなくなりましたが、長野県人寮でも女性受入れ、女性専用寮への転換なども真剣に考えるべきと思いました。



夏の記憶・1964年鎌倉

(舎友番号、入寮年)

第8回総会開催案内返信ハガキ通信欄より

田中 寿 (369、1991年) : 総会が盛大に開催されることをご祈念申し上げます。

関口 豊和 (479、2002年) : その節は大変お世話になり誠に有難うございました。勤務と子育てで余裕がない生活、(総会欠席は) 誠に申し訳ありません。

佐々木優一 (572、2011年) : この度はご連絡を賜り有難うございます。今年も暑くなりそうですのでお身体ご自愛ください。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

岩原 優 (580、2012年) : 流行り病になったり、仕事で色々任せてもらえるようになったりと忙しい一年でした。この歳になると健康であることの大切さを実感したので今後は今まで以上に健康に気を遣いながら日々を過ごしていきたいです。

神藤 駿介 (606、2015年) : 昨年の総会・懇親会では有難うございました。信陽舎での生活が想いだし、あらためて素敵な出会いに恵まれていることを実感しました。今年は出席ができませんが、引き続きよろしく願いいたします。

両角 旺大 (610、2016年) : 返信が遅くなり申し訳ありません。今回の総会は欠席させていただきます。

松尾 龍 (614、2016年) : 大変ご無沙汰しております。県外に長く出張していたため会報や案内を拝見できておらず申し訳ございません。総会には是非出席したいと思います。皆様にお会いできるのを楽しみにしています。

宮崎 健太 (615、2016年) : ご無沙汰しております。総会には久しぶりに参加させていただきます。皆様にお会いできるのを楽しみにしています。

伊東 丈 (616、2016年) : 総会のご盛會を祈念申し上げます。

平林 海斗 (620、2017年) : 仕事のため総会は欠席させていただきます。今後とも宜しくお願いいたします。

風間 大輝 (644、2019年) : 学業の都合のため(総会)は欠席させていただきます。大変申し訳ございませんが宜しくお願いいたします。

平出 拓也 (657、2022年) : 今回は教育実習期間と重なってしまうため、欠席させていただきます。良い会となりますようにお祈りいたします。

永原 拓実 (665、2022年) : ご無沙汰いたしております。昨年度まで大変お世話になりました。部活動(学習院大学野球部)では主将となり、寮長としての経験が活きております。



夏の記憶・1965年武蔵野

転居通知

転居先住所は、個人情報保護のため表示を差し控えていただきます。連絡等で詳細をお知りになりたい方は、お手数ですが事務局までお問合せ下さい。

滝澤 敏章 (274、1977年) : この度下記の住所に移転しましたので名簿の訂正をお願いいたします。(長野県松本市県)

田中 洸哉 (536、2007年) : 7月1日付で八丈島に転勤になりました。(東京都八丈島八丈町)

宮崎 健太 (615、2016年) : 大田区に転居いたしましたので宜しくお願いいたします。(東京都大田区大森東)

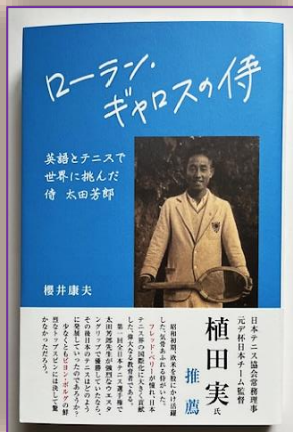
後田健太郎 (593、2013年) : 今年3月まで、神奈川県小田原市の弁護士法人小田原三の丸法律事務所に勤務し、2年間研鑽を積ませて頂きましたが、このたび11年ぶりに故郷信州に戻り、4月から飯田市の後田法律事務所(弁護士・後田寿久)にパートナー弁護士として入所しました。若輩者の私ですが、皆様方には、何卒ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。(長野県飯田市高羽町)

訃報 ご冥福を！ 物故者 72名 (武蔵境寮以降)

❀ 曲田 誠二(舎友No.132 在寮期間1964～1965)さん 令和3年ご逝去。満77歳。令和6年5月22日舎友・北原康夫さん(No.165)よりご報告いただきました。

❀ 平沢 忠明(舎友No.145 在寮期間1965～1965)さん 令和6年3月17日ご逝去。満77歳。令和6年3月21日舎友・福田瑋夫さん(No.116)より、前立せんがんでお亡くなりになったとのご一報をいただいた。平沢忠明さんは、飯田高校同窓会報の編集委員長で信陽舎のPRにご尽力いただきました。

舎友著作品紹介



『ローラン・ギャロスの侍』 <英語とテニスで世界に挑んだ侍 太田芳郎>

著者：櫻井康夫(舎友No.166、1967年入寮) 発行：樹大垣書店 定価(本体1,800円+税)

私は予てより、大学テニス部の先輩である太田芳郎氏に関し調査・研究をしておりましたが、この度その生涯をまとめた「ローラン・ギャロスの侍」を上梓する運びとなりました。今年は太田先輩没後30年の節目の年であり、偉大な多くの業績の一端でもご紹介できましたら、この上ない喜びです。素人の拙い作品ではありますが、ご高覧頂ければ幸いに存じます。

「昭和初期、欧米を股にかけ活躍した、気骨溢れる侍がいた。フレッド・ペリーが憧れ、日本テニス界の国際化に大きく貢献した、偉大なる教育者である。第一回全日本テニス選手権で太田芳郎先生が強烈なウェスタングリップで優勝していたなら、その後日本のテニスはどのように発展していったのであろうか？少なくともビヨン・ボルグの鮮烈なトップスピンには決して驚かなかっだろう」

(推薦文 植田実・日本テニス協会常務理事、元デ杯日本チーム監督)

著者の櫻井康夫さんは1967年から3年間信陽舎に在寮。東京教育大学卒業後、グンゼ(株)入社、グンゼスポーツ(株)社長等を歴任、退職後はスポーツジャーナリスト、大阪経済大客員教授等で活躍。

令和6年度 新入寮生歓迎会

令和6年4月20日(土) 午後6時～午後8時30分 於：2階食堂

参加者は、新入寮生6名、先輩在寮生12名、ケアハウス2名（村田施設長、外山生活指導員）、理事4名（林理事、池野理事、岩原理事、福與理事）、舎友2名（市澤文太先輩、平出拓也先輩）、長谷川寮母さんの総勢27名であった。少人数ならではの暖かい雰囲気での歓迎会となった。

午後6時、先輩在寮生、理事、先輩舎友、ケアハウス職員などの参加者が集まったところで、新入寮生の6名が参加者のハイタッチと拍手に迎えられて入場し上座の席に着いた。

高橋諒多副寮長の開会宣言で歓迎会はスタート。まずは佐藤大地寮長の歓迎の挨拶があった後、新入寮生の自己紹介があった。駒井創君、宮坂佳樹君、後藤亮太君、並木雅周君、柳本和波君、田牧優晴君の順に出身高校、在籍大学と専攻、趣味等の紹介があった。次に理事長挨拶では、皆さんは、デジタル化、AI化によってフェイクニュースや偽画像が溢れる社会のなかで生きていくことになるが本物と偽物を見分ける力が必要になってくる。

本物か偽物か見極める力というのは、幅広い教養と多様な人々との交流によって培われる。その交流で鍵となるのが、相手の気持ちが分かる能力だ。

専攻の違う大勢の寮生や寮母さん理事や先輩舎友、ケアハウスの皆さんと交流できる信陽舎の4年の間には是非、相手の気持ちが分かる人間になってくださいと話した。続いて桜堤ケアハウスの村田施設長より、コロナ禍も去って少しずつ寮生の皆さんと交流できるようになったので、お互いの行事や合同避難訓練などで交流を深めていきたいとのお祝いの挨拶を頂いた。乾杯の挨拶では林史典理事から概要つぎのようなお話があった。

信陽舎は、一つの共同体、つまりコミュニティーだ。皆で力を合わせて切磋琢磨しながら生活する場である。共同体では、勿論大学の勉強は大事だが、学力、すなわち数値化できる能力よりも大事になってくるのが人格、つまり相手を思いやりとか自分を律するといった数値で表せない能力が大事になってくる。また、これからは情報化社会であらゆる情報や知識が簡単に手に入る世の中のため、自分の頭で考える機会が少なくなった。情報や知識に頼るのではなく、必要な情報や知識を取捨選択した上で自分の頭で考えて欲しいと、情報化社会で思考力が衰えていくことを憂えての貴重なお話の後、新入寮を祝って乾杯を行ない、長谷川寮母さんの用意してくれた絶品のご馳走を頂きながらの楽しい歓談が始まった。

余興では、まず最初に新入寮生の並木雅周君と柳本和波君が登場し、並木君の歌に併せて柳本君が踊る芸を披露。続いて新入寮生の4名（駒井創、後藤亮太、田牧優晴、宮坂佳樹）が登場し、宮坂君の歌に併せて全員で踊る芸を披露。近年流行りのK-POPグループBTSのモノマネ芸なのか（?）、会場は爆笑。当日午後には俄か練習しただけだというのに、その踊りの息はピッタリで、なかなか見ごたえのある（年寄りにはその良さが解りづらいが?）ものだった。最後にヒップホップダンスではプロ級の五味零弥先輩が新入寮生たちにダンスの振り付けの俄か指導を行うなどして盛り上がった。上級生の余興では、高橋諒多君によるアナウンスで鍛えた声での歌、小山ういる君と田畑尚大君の歌の披露、最後に登場した太田悠君による長谷川寮母さんの“口癖のモノマネ”は、3年間小言を言われ続けたためか（?）特徴を捉えていて寮生たちの爆笑を呼んだ。

楽しい時はあっという間に過ぎて、全員で寮歌と信濃の国を斉唱、記念撮影は写真が趣味の柳本君にお願いして一眼レフカメラにて撮影を行い、午後8時30分楽しかった歓迎会も閉幕となった。（運営記録より）



駒井 創君・伊那北高出身
東京学芸大学 教育
趣味：囲碁



宮坂佳樹君・松本国際高出身
職業能力開発総合大学 電気
趣味：F1レース観戦



新入寮生6名
の自己紹介



後藤亮太君・松本美須ヶ丘高出身
杏林大学 外国語観光交流
趣味：ドラム、野球観戦



並木雅周君・長野高出身
早稲田大学 法学
趣味：ラグビー、ギター



柳本和波君・池田工業出身
HAL東京専門 CG学科
趣味：写真、模型製作



田牧優晴君・長野高出身
法政大学 人間環境学
趣味：トランプマジック・ピアノ

令和6年度 新入寮生歓迎会アルバム

令和6年4月20日(土) 午後6時～午後8時30分 於： 2階食堂



ハイタッチと拍手に迎えられて入場する新入寮生



上座に勢ぞろいした6名の新入寮生



佐藤寮長・高橋 & 松井副寮長の開会挨拶



桜堤ケアハウス村田施設長祝辞



林理事・乾杯挨拶



寮生・理事・ケアハウス職員が和やかに交流



長谷川寮母さんの美味しい料理を頂きながら楽しく語り合う参加者たち



並木雅周君と柳本和波君の余興



並木雅周君と柳本和波君の余興



駒井創君、後藤亮太君、田牧優晴君、宮坂佳樹君の余興



とても仲が良く団結力のある新入寮生の6名



記念写真撮影

桜堤ケアハウス「夏の夕食会」での意義深い交流

令和6年7月24日(水) 於：桜堤ケアハウス 1階食堂



着席した方に飲み物を配る寮生



飲み物のお代わりを給仕する寮生



デザートのお菓子を配る寮生



デザートのお菓子を配る寮生

7月24日、桜堤ケアハウスの恒例行事である“夏の夕食会”に5年ぶりに寮生とともに参加した。コロナ禍で4年間は交流を中止していたが、今回は少人数でマスクの着用を条件に参加することになり、2年生の松井一憲君と1年生の駒井創君、後藤亮太君、田牧優晴君の寮生4名と福與の計5名が参加した。

午後5時20分頃からケアハウスの入居者たちが食堂に集まってくると、寮生達はマスクとビニール手袋を着用して、席に着いたお年寄りに声を掛けながら飲み物（お茶と梅ジュース）を配っていた。入居者25名全員揃ったところで夕食会が始まった。村田施設長が開会の挨拶の中で、今日は土用の丑ということで、厨房の皆さんが国産うなぎの蒲焼をメインディッシュとしてご用意いただいたのでご堪能ください。本日は5年振りに学生寮信陽舎より理事長と学生さんにお越しいただいてのご紹介いただいたので、福與より自己紹介とお祝いを述べたあと、参加寮生一人一人マイクを握り、大学の専攻や特技などをユーモアたっぷりに自己紹介、お年寄りの皆さんから拍手をもって大歓迎された。

会食中、寮生達は各テーブルを回り、飲み物のお代わりを給仕したりお話をして回った。会食が終わるころに食後デザート用のお菓子を寮生達が入居者全員に配給したあと、入居者代表の女性2名からお礼として手作りの品物が寮生たちにプレゼントされた。

時間的には1時間ほどの夕食会であったが、入居者の皆さんにとっては若い学生たちと触れ合えたことがとても新鮮だったようで、お部屋に帰られる時に皆さんから感謝の言葉を頂戴した。

後片付けを始めた寮生たち4名は、それぞれ女性入居者から話しかけられる始末で、モテモテであった。あちらこちらで女性入居者と話し込む寮生たちの微笑ましい風景に心が癒される思いがした。このような交流を深めていくことは寮生にとっても高齢者にとっても、その意義は大いだと確信した次第である。

後片付けも終わった午後6時45分、寮生たちは、うなぎ蒲焼弁当、デザート菓子、飲み物等を頂いて寮に戻り、うなぎ弁当を美味しくいただいた。

(運営記録より)



参加寮生(松井・田牧・後藤・駒井)



入居者からお礼の品を受ける後藤君



入居者からお礼の品を受ける駒井君



入居者代表と記念撮影

ケアハウスの女性入居者たちと談笑するモテモテの寮生たち



後藤亮太君



駒井 創君



駒井創君・後藤亮太君・松井一憲君



田牧優晴君



年会費納入のお願い！

舎友会の運営経費は会員の年会費によって賄っております。舎友会活動は、年2回の会報発行と年1回の総会・懇親会開催が主な活動ですが、諸物価高騰により、会報印刷費用や総会開催費用等も年々値上がりしている一方で、年会費の納入数は伸びておりません。

学生寮信陽舎の運営を後方支援するとともに舎友間の親睦と活性化のために年会費の納入にご協力をお願いいたします。

年会費納入推移

納入年度	納入者
2019年度	153名
2020年度	145名
2021年度	139名
2022年度	138名
2023年度	139名

会報印刷費用推移

発行年度(号)	印刷費
2017年度(第1号)	69,984
2018年度(第2号～3号)	139,968
2019年度(第4号～5号)	143,856
2020年度(第6号～7号)	146,520
2021年度(第8号～9号)	146,520
2022年度(第10号～11号)	185,625
2023年度(第12号～13号)	195,525

2023(令和5)年度 信陽舎舎友会 決算報告

収支	項目	摘要	金額
収入の部	繰越金	前期(令和4年度)より繰越金	214,506
	年会費	2023年分 137件	274,000
	”	2022年分 2件	4,000
	第7回総会参加費	8000x43名、二次会費2000x15名	374,000
	雑収入	役員会議費用の残金	2,501
合計			869,007

支出の部	会報「武蔵野」制作費	第12号、第13号(各450部)印刷代	195,525
	総会開催費用	第7回総会(メトロポリタン長野)費用	389,335
	事務費	印刷用紙、プリントインク代等	23,730
	通信費	案内状・返信ハガキ、会報郵送料	86,050
	手数料	郵便振替・印字手数料、振込手数料等	22,411
	小計		717,051
	繰越金	次期へ繰り越し	151,956
合計			869,007

繰越金内訳	郵便振替口座	126,031
	現金	25,925

2023(令和5)年度 信陽舎舎友会 会計監査報告書

信陽舎舎友会 殿

2023年度信陽舎舎友会における事業報告、決算収支報告書、郵便振替口座、現金出納帳並びに付属明細書、領収書等を監査した結果、適正に処理・記載されていることを認めます。

令和6年5月25日

信陽舎舎友会 監事
原 誠 (印)

信陽舎舎友会 監事
後田健太郎 (印)

【事務局からのお願いとお知らせ】



お便り大歓迎！



舎友名簿に関するお願い



舎友の皆さんの近況報告や寮生活の思い出、あるいは親しい舎友の情報など気軽に寄せてください。

また、寮の運営に関するアドバイスや信陽舎の知名度を上げるためのアイデア、会報の編集内容に関する助言なども大歓迎ですので、下記事務局宛に郵送・メール・ライン等でぜひお寄せ下さい。

舎友会では、個人情報保護の観点から「舎友名簿」の発行は行っておりません。同期会又は各地区舎友会等を企画される折に、舎友の連絡先を必要とされる場合は、下記の事務局までお問合せ下さい。

また、住所移転などにより所在不明となっている舎友が多数おられますが、お知り合いの舎友で会報等が届いていない方がいた場合は、お手数ですが下記事務局までご一報いただければ幸いです。

《 会報「武蔵野」編集委員 》

福田 璋夫(116)	福與 卓臣(117)
深澤 勝吉(135)	五島 久揮(176)
原 誠(220)	仁科 圭右(306)
田中 淳一(470)	岩原 優(580)

文中の挿絵(版画・スケッチ等)の作画は福與卓臣

発行人：林 史典(会長)

事務局：福與卓臣(事務局長)

〒225-0026 横浜市青葉区もみの木台 34-8

☎(045) 902-2575 携帯☎090-9841-6349

E-mail: tof2943@citrus.ocn.ne.jp

会報「武蔵野」第15号 令和6年9月1日発行